

補助事業番号： 19-131

補助事業名： 平成 19 年度 貿易・投資円滑化のための国際交流推進等補助事業

補助事業者名： 財団法人 貿易研修センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

諸外国との円滑な経済関係の維持・発展のために、諸外国のオピニオンリーダー（有識者、専門家、要人）を招聘し、意見交換等を通じて相互理解の増進を図る。

また、日本の経済・産業等に関する専門家及びビジネスリーダーを海外へ直接派遣し、講演会・展示会を実施して、対日理解促進を目指す。さらに、中長期的に日本へ滞在しているオピニオンリーダーを対象に、我が国の地域経済・産業への理解を深めてもらい、帰国後の貿易・投資誘致活動促進を目的として、地方視察（インダストリアルツアー）を実施する。

プログラム終了後、我が国の政治・経済・通商政策及び機械工業に関する最新情報の提供を中心に、上記事業の参加者・関係者をもとにしたネットワークを構築・運営し、対外諸国との関係等に関する認識の深化、相互理解、並びに相互交流の維持・発展を図る。

以上の事業展開により、諸外国との良好な経済関係の発展を図り、もって我が国機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① オピニオンリーダー招聘事業

<http://www.iist.or.jp/j/contents/ied/opinion.html>

ア. 有識者招聘－第 36 回「リーダーシッププログラム」

平成 19 年 9 月に開催した同プログラムでは、13 カ国（ブラジル、カナダ、チリ、コスタリカ、フランス、イタリア、ケニア、パキスタン、ポルトガル、南アフリカ、タイ、英国、OECD）から計 13 名のオピニオンリーダーを招聘し、日本の政治・経済等に関する講義、経済産業省幹部職員との意見交換、東京、関西における代表的企業の訪問、一般家庭におけるホームステイを実施した。

イ. 専門家招聘－「近代化産業遺産シンポジウム事業」

平成 19 年 11 月に開催した同プログラムでは、近代産業遺産について先進事例を持つドイツ、フランス、英国より 4 名の専門家を招聘し、自国の活用事例の紹介を通じて上記課題を克服する示唆を得るほか、産業遺産視察、日本人専門家とのディスカッションを通じて相互交流を図るため、国内産業遺産視察ツアー、ワークショップ、シンポジウ

ムを実施した。

ウ. 要人招聘

平成 19 年度要人招聘事業では、3 カ国(英国、インド、韓国)から計 4 名の行政官、学者、企業関係者を個別に招聘。バイオクラスター交流、自動車関連産業の国際展開や日中韓の経済交流をテーマとしたシンポジウムを開催したほか、経済産業省職員や企業関係者との意見交換を実施した。

②対日理解促進事業

ア. ミッション派遣事業

<http://www.iist.or.jp/j/contents/ied/un-j.html>

平成 19 年度は、3 カ国(豪州、ドイツ、フランス)へ、学者、企業関係者等からなるミッション団を派遣した。豪州では、地域活性化のためのエコツーリズム活用事例視察及び同地域と北海道との投資・観光交流促進会、ドイツでは MEMS、IT、自動車関連分野における交流事業、また独・仏 2 カ国において中部地域の PR 事業を実施した。

イ. インダストリアルツアー

<http://www.iist.or.jp/j/contents/ied/industrialtour.html>

平成 19 年 6 月に実施した同プログラムでは、九州の産業・経済および投資環境への理解を深めるため、在日大使館員を対象に、福岡、佐賀、長崎を訪問し、九州地域の企業訪問・産業見学、地元経済界との意見交換、文化施設見学等を行う「九州インダストリアルツアー」を実施した。

③情報提供事業

<http://www.iist.or.jp/wf/index.html>

海外の我が国政治経済状況や通商政策、機械工業に対する認識の更新、正しい理解とその深化に貢献するため、事業参加者、関係者をもとにした「IIST ワールドフォーラム」と称するネットワークの登録者約 2,100 名に対し、毎月 2 回、我が国の政治・経済・通商政策等に関連する諸情報を「IIST メールマガジン」の名称で提供した。

2. 予想される事業実施効果

本事業では、海外の有力なオピニオンリーダーを招聘し、我が国の政治、経済、社会、文化の最新情報を学習するほか、国際シンポジウムを開催し、特定の経済・産業分野における日本の取り組みを紹介し、帰国後、日本理解者として活躍してもらうことにより、これら諸国と日本との円滑な経済関係の維持・発展に寄与し、ひいてはこれら諸国の市

場における我が国の活動環境改善に著しく役立つものと期待される。更に、我が国の諸事情に関し深い知見を有した学者、専門家、ビジネスリーダー等を海外へ直接派遣し、動きの早い現下の日本経済・産業の状況を、迅速かつ的確に海外の多くの人に直接発信することにより、草の根的な対日理解の促進を図る。インダストリアルツアーでは、参加者が帰国後、訪問した地域への投資誘致サポートが行われることが期待されており、招聘事業ではカバーすることが難しい我が国の地域経済理解促進ひいては地域経済活性化を目指す。また、本事業の過去の参加者・関係者に対するフォローアップとして、現下の我が国の政治・経済・通商政策に関する情報を海外へ提供することにより、知日派、親日派の継続的育成に役立つものと期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ①THE 36th LEADERSHIP PROGRAM ON JAPAN (第36回「リーダーシッププログラム」実施報告書)
- ②IIST LEADERSHIP PROGRAM Heritage of Industrial Modernization in Japan (「産業遺産シンポジウム事業」実施報告書)
- ③THE 2007 INVITATION PROGRAM (平成19年度要人招聘事業実施報告書)
- ④THE 2007 OVERSEAS MISSION PROGRAM (平成19年度ミッション派遣事業実施報告書)
- ⑤IIST INDUSTRIAL TOUR IN KYUSHU (「九州インダストリアルツアー」実施報告書)
- ⑥平成19年度IISTワールドフォーラム・メールマガジン報告書
- ⑦第7回環黄海経済・技術交流会議 環黄海(産学官)ビジネスフォーラム実施報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人貿易研修センター（ボウエキケンシュウセンター）

住所： 105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館2階

代表者： 理事長 塚本 弘（ツカモト ヒロシ）

担当部署： 企画調査広報部（キカクチョウサコウホウブ）

担当者名： 豊嶋 玲子（トヨシマ レイコ）

電話番号： 03-3503-6621

FAX 番号： 03-3501-0550

E-mail: toyoshima@iist.or.jp

U R L: <http://www.iist.or.jp>